

令和元年度 森林環境譲与税の使途に関する事項の公表

京 都 府
精 華 町

森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律第34条第3項の規定により、令和元年度の森林環境譲与税の使途に関する事項を公表します。

令和2年12月24日

1 総括表

(1) 使途別事業一覧

区 分	使途・目的	事業数	事業名	事業総額
森林整備	森林経営管理制度（新たな森林管理システム）の推進			千円
	その他森林整備事業	2	林業事業 里山保全モデル事業	1,480千円
森林整備の促進	人材の育成及び確保			千円
	森林の有する公益的機能に関する普及啓発			千円
	木材利用の促進			千円
	その他森林整備の促進に関する事業			千円
基金積立				千円
令和元年度に活用した森林環境譲与税の総額				1,480千円
(参考) 令和元年度に譲与された森林環境譲与税額				1,480千円
(参考) 令和元年度に基金から取り崩した額				0千円

(2) 森林環境譲与税の活用による事業評価（総括）

町内人工林等の調査実施により、人工林61箇所（6.35ha）の現状が明らかになり、（仮称）精華町森林管理保全指針の令和2年度での策定に向けた基礎資料が作成された。また、里山保全活動の実施により、参加者が自然にふれあい親しむ機会を提供するとともに里山の保全が図られた。

2 各事業の実績

事業名	事業総額（千円）			当年度の基金への積立額（千円）	事業内容	実 績
	うち当該年度の森林環境譲与税（千円）	うち基金取崩額（千円）	うち他の財源（千円）			
林業事業	1,501	1,459	0	42	（仮称）精華町森林管理保全指針策定に向けて町内の人工林等調査を実施。また、森林整備事業実施に伴い地域林政アドバイザーを雇用。QGIS操作研修を町職員や関係ボランティア団体等を対象に開催。	人工林等調査面積：6.35ha 地域林政アドバイザー雇用：1名 研修会開催：1回
里山保全モデル事業	73	21	0	52	里山が持つ豊かな自然を保全、再生するための事業。事業実施に要する消耗品、燃料、手数料等の費用。	せいか里山保全活動：11回